

栃木県教育委員会との意見交換会

令和6年1月12日、栃木県本町合同ビルの教育委員室にて、栃木県教育委員会と意見交換会を実施しました。冒頭、揚石会長と阿久澤教育長の挨拶から始まり、それぞれが互いの感謝と御礼の気持ちを表現され、終始和やかな雰囲気の中、意見交換が行われました。しかしながら、教育環境並びにPTAを取り巻く社会情勢と現状には様々な問題が山積しており、◆「とちぎ部活動移行プラン」を踏まえた部活動の環境整備等の具体的なスケジュールと保護者負担に関わる内容について ◆児童生徒数の減少に伴い、スポ少、部活動が休部や廃部になっていることへの対応について ◆大人が学び続けることの大切さの普及や親に対する教育やフォロー制度の充実について ◆連携強化とPTA活動への支援について ◆児童生徒数の減少が学校数の減少を引き起こし、PTAを含む地域力の低下に及ぼす影響への懸念と対応について ◆市町間の教育環境の格差について ◆市町PTA連合会／協議会事務局の設置について等、多くの案件の意見交換が行われました。

コロナの影響を受け、3年間しっかりと時間を取って意見交換をする場が持てなかったこともあり、今年度は非常に充実した意見交換会を開催することが出来たと感じております。県教委と県P連は県単位という広域だからこそ、強い連携は不可欠であると強く感じております。今後もしっかりと連携を深めお互いを理解し合い、全ての児童生徒が輝くために活動して参りたいと決意を新たにしました。

副会長 福田 治久



県教委との意見交換会

地区情報交換会

芳賀地区

時代背景の変化やコロナ明けの活動再開が進む今年度、各学校のPTA活動においても課題や悩みが出てきている中で開催された芳賀地区情報交換会、各PTA会長さんと県P役員で、活発な意見や情報の交換を行いました。具体的には、多様性への時代変化を受けた活動簡素化や手挙げ制の具体例、栃木県における部活動の地域移行の状況共有など様々な意見交換がなされました。

本音で議論が出来たこの会は、大変意義のある会だったと感じました。県Pとしては今後このような機会を充実させるとともに、本会で出た課題に対して向き合いながら、子供たちの笑顔や未来のための良い組織を目指して活動して行きたいと思えます。

監事 井上 直樹

那須地区

令和6年2月13日、大田原市黒羽小学校にて、那須地区（大田原市、那須塩原市、那須町）との情報交換会を開催しました。

那須地区からは那須地区PTA協議会の石川会長はじめ3市町PTA連絡協議会会長など、栃木県PTA連合会からは揚石会長など、総勢16名での意見交換会となりました。

はじめに栃木県PTA連合会の活動、日本PTAでの活動報告を揚石会長が行い、その後、那須地区の活動報告がありました。那須地区の活動報告では、活動が続いているうえで課題と、それに対応する対策など、各地区連合会ではいろいろな工夫を凝らしていることが発表されました。

大田原市では、役員活動の負担軽減と、役員がやらなければならぬという固定概念の解消を目的に、活動を分割し、自由参加のボランティア化を進めている事例が発表されました。



芳賀地区情報交換会



那須地区情報交換会

「できる人ができる時にできる事を」をモットーに、PTA活動をスリム化するため活動を進めている那須塩原市では、SNS（オープンチャット）を活用して市内PTA会長同士で情報交換を行い、課題の共有化やその解決事例などを随時行える環境を作り、継続性・持続性を備えた「今風の連絡協議会」として活動している事例発表となりました。

那須町では、PTA活動は名前から堅苦しく活動内容も伝わりにくいため、イメージアップの一環として、「IAM応援隊」として活動も「プレゼンフェスティバル」として活動するなど、革新的な発表がありました。

閉会後も参加者同士個別に情報交換するなど、積極的な雰囲気もあり、いずれの地域も「子どもたちのため」の活動を前面にしっかりと充実した意見交換となりました。

委員 隅 健一